令和7年度　丸山保育園　自己評価表

（保育理念）
明るく・強く・たくましく
丈夫な身体と人を愛する心を養う

（保育方針）
個性を見出し、長所を引き出しながら、心身ともに明るく健康な子どもに育つ環境をつくる。

A ： よくできている　　B ： わりとできている
C ： 一部改善が必要　　D ： 改善しなければならない

	内　　容	評価	意見・改善策
保育目標について	（１）保育士一人一人が、丸山保育園の保育理念、保育方針を理解している	A	保育方針への理解を深め一人ひとりの個性と意思を尊重する関りを意識し今後もさらに職員間でもしっかり周知していきたい。
	(2) 子ども一人一人の主体性を大切にした保育をしている	A	
	(3) すべての子どもについて一人一人の存在と、その人種を尊重している	A	
保育について	(1) 保育計画に基づき、子ども一人一人の発達の姿や興味を把握して、年間計画、月のカリキュラム、週案を立てている	A	一人ひとりの発達、成長や興味など職員間での話し合いが日々保育に生かされたと考える。 保育計画やカリキュラムはクラスリーダーの計画を元に協力し行う。 現行の計画に沿った保育を適切に実践できており子どもが主体的に活動できる環境づくりと職員間の共通理解を深める努力を今後も続けていきたいと思う。 一日の流れは今後の時代に応じステップアップするように心がけたい。
	(2) ３歳未満児は、現在の姿を理解し、一人一人に保育計画を立てている	A	
	(3) 素材・用具を適切に活用している	A	
	(4) 環境の構成を意識した保育や過程を常に工夫している	A	
	(5) 職員間で子どもへの理解を深め、お互いの考えを十分に理解したうえで、保育を行っている	A	
	(6) １日の流れ（デイリープログラム等）は現行でよい	A	
食育について	(1) 食育の重要性を理解し、季節や年齢に合わせて食育計画を立てている	A	会議以外でも給食職員との意見交換は大切にし、アレルギー疾患などの子どもについての対応を職員間で共有することで、保護者に安心安全な食事提供を心がけることができている
	(2) 栄養士、保育士が連携し、会議等で意見を交わしながらより良い給食になるよう努めている	A	
	(3) アレルギー疾患等の子どもに対し医師の指導の下、保護者との連携を図り適切な対応を行っている	A	
職員構成 役割分担 研修	(1) 職員の仕事や役割が明確であり、それぞれの仕事を責任を持って行っている	A	各自が責任をもって動く事が出来ているが、今後も引き続き危機管理意識を持って保育に専念したいと思う。園内研修では講師の先生を招いたりオンラインでの研修も受けることで知識と経験を積み重ねていき緊急時にも対応できる体制を築いていきたいと思う
	(2) 危機管理意識を持ち、緊急時に対応できる体制が整えられている	A	
	(3) 園内外の研修は計画を立て実行している	A	

	内　　容	評価	意見・改善策
保護者支援・情報	(1) 保護者に対して、丁寧な言葉遣いと、気持ちの良い対応を心掛けている	A	保護者との連携や情報管理は、ミーティングや職員会議などで議題にあげ適切か不適切か等話し合う機会を接遇などを通じて行っている。特に保護者対応は丁寧な挨拶や受け答えをするように意識しているが、発した言葉と思いは取り方では、トラブルになることもあるので保育園全体で話し合い、各々が自覚しながら保護者対応を心がけている。今後も誠実な対応を課題として勉強していきたいと思います。
	(2) 保護者に子どもの伸びているところや課題を伝え、連携をとっている	A	
	(3) 様々な園行事を通して保護者との良好な関係を築こうとしている	A	
	(4) 園だより、クラスだより、掲示板、ホームページ等を通して、保育内容や 子どもの姿や保護者への情報を発信している	A	
		A	
	(5) 子どもの個人記録は、個人情報保護法に基づいて管理している	A	
	(6) 職員に、園内で知り得た事柄に対しての守秘義務を周知徹底している	A	

開かれた保育園	(1) 小学校と連携し、情報交換をする機会を持つ	A	今年度も南小学校の好意により交流の場を作ることが出来、年長児は小学校の憧れを持つことできた。気になる子どもについては外部の専門機関と連携をとっているので、今後も職員は研修など受けながら個人を尊重できる保育を心がけたい
	(2) 気になる子どもの対応について、外部の専門機関と連携をとりながら対応している	A	

子育て支援	(1) 地域で子育てをしている親子の交流の場となるように努めている	B	地域に子育ての場を広く開放できていないので、今後の課題です。保育園関係者の保護者へは思いや悩みに寄り添うように勤めています。個人懇談や連絡帳で今後も園児の気になることは悩みを共有しながら保護者支援をしたいと思います。
	(2) 子どもの心身の発達や育児不安について気軽に相談できるように努めている	A	
	(3) 園生活の子どもの様子を地域にも発信している	A	

総合反省

＊オンラインでの研修を取り入れ、また、講師を招いて夕方より90分から120分の研修を行ないました オンライン研修は短時間での研修ということで、 空いた時間(園児の午睡中等)で少しずつ受けることが出来職員にとってもよい内容になっています。年度末に導入したこともあり、なかなか受講できない職員もいますが、今後も環境を整えていき質の向上に努めていきたいと思ます。

＊居残り保育から一日保育をさせたいただくことにより、一日の流れを理解し、効率よく働きながら保育をしていくことなど学べてよかったです。子どもとのかかわりが増えた分楽しさも増えましたが、ケガやトラブルにも関わる事が増え、クラスでの保育士同士の連携の大切さも改めて感じました。

＊一年間を通して、子ども一人ひとりの気持ちに寄り添いながら保育を行うことを心がけてきたが、一年目で分からないことも多く、日々の業務を覚える事で精一杯な場面もありました。こども一人ひとりに丁寧に関わることを意識していたが余裕がなく十分対応できてないこともあったと思う。保護者対応や職員間の連携についても受け身になったしまうことが多くあったので今後は積極的に報告・連絡・相談(報連相)を行い、周囲と連携しながら保育に取り組んでいきたい。

＊気になるお子さんのお世話でしたが、毎日の積み重ねがとても大切でそれにより少しの成長でも大きな喜びを感じる一年でした。今後も一人ひとりにしっかり向き合う保育を心がけていきたいと思います。

＊園内研修や外部での研修にも参加し、知識・技能・専門性の向上にも務めるよう心掛けました。

組　　氏名